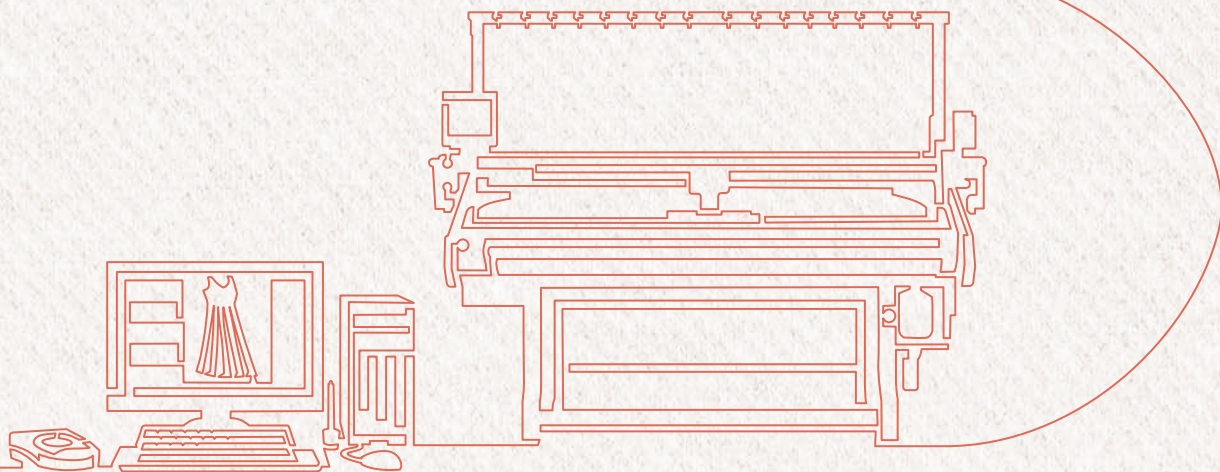


株主の みなさまへ

第56期 営業のご報告

2016年4月1日～2017年3月31日



横編機事業の好調により、大幅な増収・増益を達成。 新経営体制のもと、さらなる成長を加速していきます。



新経営体制について

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2017年6月28日、第56回定時株主総会後に開催された取締役会におきまして、島正博が代表取締役会長に、島三博が代表取締役社長に就任いたしました。

代表取締役1名から代表取締役2名への移行により、さらなる経営体制の強化・充実を図り、企業価値の向上を目指してまいりますので、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q 当期(2017年3月期)の主な取り組みと業績について説明してください。

A 円高環境の中でも売上・営業利益を大きく伸ばすことができました。

中期経営計画「Ever Onward 2017」の発表から2年目となる当期、当社グループは国内および海外各地のさまざまなユーザーの要望に応えるべく、各市場のニーズに合わせた製品の開発・サービスの提供に努めるとともに、顧客に密着した提案型の営業活動を展開しました。

(左)
代表取締役会長
島 正博

(右)
代表取締役社長
島 三博

Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を実現するため、現会長・島正博によって1962年に創立されました。「Ever Onward – 限りなき前進」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。1990年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製型の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業をはじめユーザー業界の発展に貢献してまいります。

当期の業績を牽引したのは、主力ビジネスである横編機事業です。前期(2016年3月期)の第4四半期から急速に販売を伸ばし、当期に入ってから高水準の受注ペースが続きました。

この結果、当期の連結売上高は624億32百万円(前期比25.9%増)となりました。また利益面についても、円高の影響はありましたが、増産効果によるコスト低減などにより、営業利益112億62百万円(同94.8%増)、経常利益100億43百万円(同121.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益71億98百万円(同120%増)と、いずれも前年比2倍前後と大幅な増益となりました。



事業分野別の状況について説明してください。

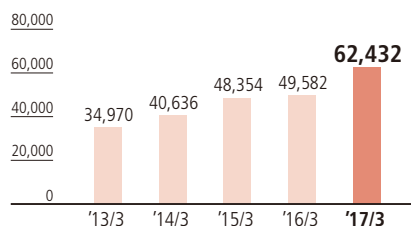


ASEAN諸国・中国市場を中心に販売が拡大しました。

横編機事業では、前期に引き続き欧米アパレルの生産拠点であるバングラデシュやベトナムなどのASEAN諸国で販売が拡大しました。また近年、低調であった中国市場でも、上質な衣料品への国内ニーズの拡大を受け、内需向けの設備投資が活発化したほか、新たにシューズ生産向けの需要が

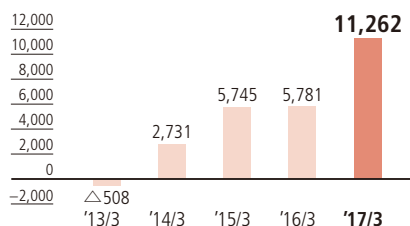
売上高

(百万円)



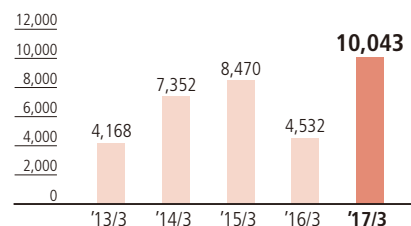
営業利益・損失(△)

(百万円)



経常利益

(百万円)



高まった結果、販売を伸ばしました。欧州市場においても、世界のファッション産業の中心地であるイタリアが前期から回復基調に転じ、ホールガーメント®横編機「MACH2®XS」や「SRY®」、 「SIR®」などの上位機種を中心に堅調に推移しました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」がニットプログラミングだけでなくデザインツールとしての活用が広がりましたが、国内アパレルの不振の影響もあり全体ではやや低調となりました。自動裁断機「P-CAM®」は、アパレル分野だけでなく、自動車関連、家具関連、産業資材分野などへ引き続き販路を広げることができました。

Q 次期(2018年3月期)の主な取り組みと業績見通しについて説明してください。

A 中国の市場変化をホールガーメント横編機の拡大につなげていきます。

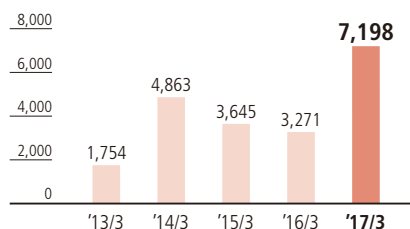
現在、バングラデシュやASEAN諸国からのコンピュータ横編機の大量受注により、工場はフル稼働状態が続いています。今後も旺盛な需要が予想されるため、さらに生産体制の強化に努めていきます。中国市場については、2016年6月、上海に「島精機ニットデザイン研究開発セン

ター]を開設し、高付加価値のものづくりの情報発信や、当社の蓄積したビジネスノウハウの提供とともに、中国での人材育成にも取り組んでいます。(詳細はP.12をご覧ください。) 次期はホールガーメント横編機の重要ターゲットと位置付け、欧米アパレル向けOEM型生産から自国内市場向けの高付加価値製品へビジネスモデルの転換を図る顧客を中心に、提案活動を進めていきます。

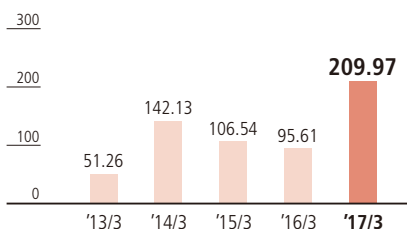
デザインシステム関連事業では、「トータルファッションシステム®」の中核となる「SDS-ONE APEX3」の積極的な営業活動を引き続き国内外で展開し、異業種分野への提案もより強化します。また、国内を中心に販売を伸ばしてきた「P-CAM」も、海外サービス拠点の拡充などにより海外展開を本格化させていきます。さらに、ものづくりのサプライチェーンを最適化する新ソリューション「Shima KnitPLM®」や、コンテンツの提供を通してオリジナリティあるものづくりを支援するWEBサービス「staf®」などの新分野にも注力し、横編機事業、デザインシステム関連事業との連動により、さらなる成長につなげていきます。

これらの取り組みにより、次期の連結業績は売上高730億円、営業利益150億円、経常利益150億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円を計画しています。

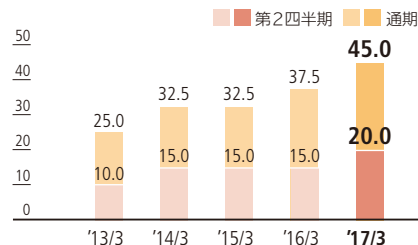
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり配当金 (円)



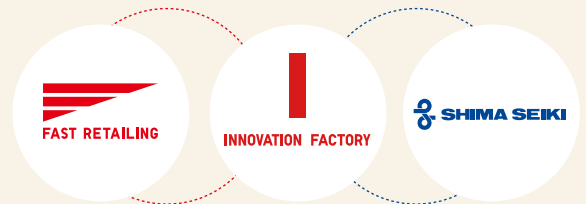
Column

(株)ファーストリテイリングとの協業で ホールガーメントの世界展開を加速します

「イノベーションファクトリー」が合併会社としてスタート

2016年10月、ユニクロ等を展開する(株)ファーストリテイリングからの出資を受け、当社子会社の(株)イノベーションファクトリーが新たに合併会社としてスタートしました。

当社と(株)ファーストリテイリングの関係は、当社のユーザーが同社と取引を開始した1990年代に始まりです。この度、ユニクロ事業を中心とした同社グループ向けに、高品質で付加価値の高いニット製品を生産することになりました。



両社の協業でホールガーメントを世界に発信

昨秋に販売を開始した「ユニクロU」のレディースニット製品の一部は、イノベーションファクトリーで製造しています。

今後、(株)ファーストリテイリングの企画力、マーケティング力、販売力と、当社が持つ最新ニット技術を融合させることで、ホールガーメントを核とした次世代ニット生産の事業モデルを構築し、イノベーションファクトリーが画期的なニット製品の生産を実現する「マザー工場」の役割を担っていくことを目指していきます。

ユニクロ事業を中心に、SPA(アパレル製造小売業)ビジネスを世界規模で展開するファーストリテイリンググループとの連携を一層高めることで、ホールガーメントの認知度を向上させ、ホールガーメント横編機事業の拡大につなげてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 新経営体制のもと、さらなる成長を目指していきます。

当社では、株主の皆様に対する利益還元を、経営の最重要課題に位置付けています。当期の株主の皆様への配当金については、中間配当金を20円、期末配当金は当初の予定通り創立55周年の記念配当2円50銭を加え、1株あたり25円とし、年間配当金は1株につき45円で実施させていただきました。

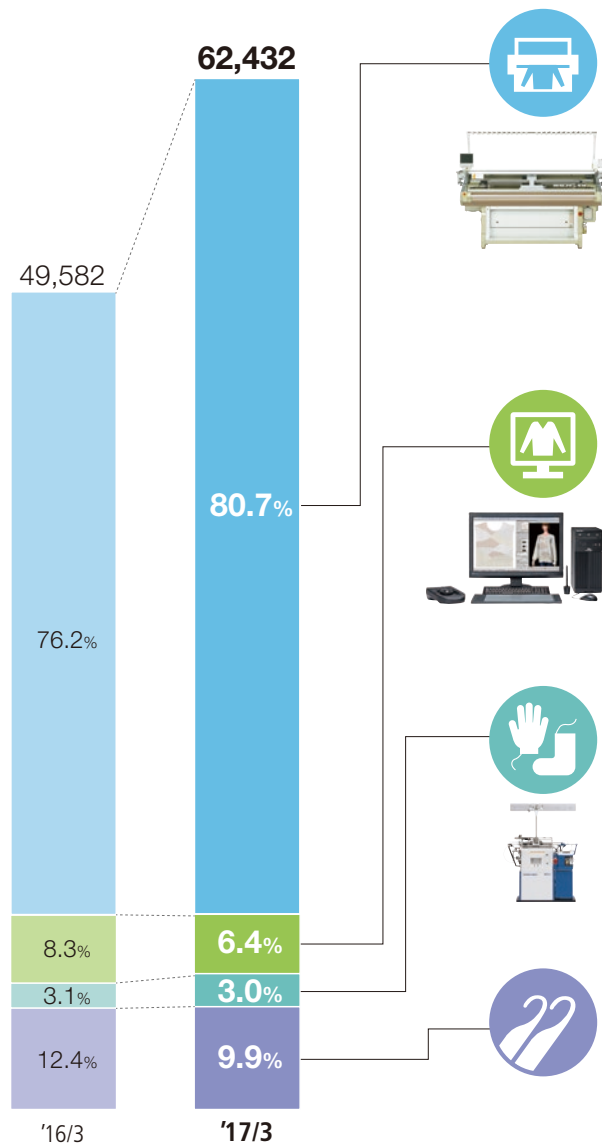
次期は中期経営計画「Ever Onward 2017」の最終年度として、各国・地域のニーズに密着した提案活動を積極的に進めていくことで目標の達成を目指します。

多品種少量生産が可能で、高品質なニット製品を創り出すホールガーメント横編機と、企画プロセスを飛躍的に短縮し、市場に即応したスピーディなものづくりを実現するデザインシステムを連携させることで、これからもアパレル業界のみならず、さまざまな業界にイノベーションを起こしていきます。

新経営体制のもと、中期経営計画を軸に経営基盤の強化に取り組むとともに、企業全体を新たな成長ステージへと乗せていきます。株主の皆様には、引き続き温かいご理解、ご支援をお願いいたします。

事業別売上高構成比

(百万円)



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、伸縮性を抑えた新しい編地ができる「SRY®」、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」、さらに高速編成を可能とする「SVR®」など、独自の開発力を生かした豊富なラインアップで進化し続けています。

デザインシステム関連事業

アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のものづくりを支援するデザインシステムを提供。高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機による異業種への展開も積極的に進めています。

手袋靴下編機事業

当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化も進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。

その他事業

当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。

Column

日米の小売業向け展示会で、 インテルのブースに当社製品を出展

2017年1月、米国ニューヨークで開催された小売業向け展示会「NRF」展(National Retail Federation Retail's Big Show 2017)において、インテル社のブース内で、当社製品が展示されました。インテル社はコンピュータ用プロセッサで世界トップシェアを誇る半導体メーカーで、店舗における業務革新の事例として当社製品が紹介されました。

展示会では、当社のホールガーメント横編機とデザインシステムの連携による、アパレル製品の革新的なオンデマンド生産を見ていただき、好評を博しました。

これを受けて、2017年3月には、東京で開催された小売業向け展示会「リテールテックJAPAN 2017」においてもインテル社のブースで当社製品が展示されました。来場したデザイナーブランドの中には、店舗でのオーダーメイド販売の事業化に興味を示して具体的なビジネスモデルを検討するなどの成果があり、小売業界をはじめとする異業種分野へ当社製品をアピールできました。



NRF展(ニューヨーク)



リテールテックJAPAN 2017(東京)

アジア市場ではバングラデシュやASEAN諸国で設備投資が年度を通し活発に推移し、「SSR」や「SVR」を中心に販売が拡大しました。中国市場でも企画提案型への転換を図る動きの広がりや、シューズ生産向けの需要拡大などにより売上が増加しました。さらに、韓国市場においてもホールガーメント横編機「MACH2®XS」の導入が加速しました。また、欧州の中心市場イタリアでは「MACH2XS」や「SRY」、「SIR®」などの販売が伸びました。一方、国内市場は「MACH2XS」の採用が進んだものの売上高は前期に比べ減少しました。これらの結果、売上高は503億78百万円(前期比33.3%増)となりました。

ニット業界以外の幅広い業種に採用を広げてきた「SDS®-ONE APEX3」は、国内アパレルの不振などからやや低調となりました。機種バリエーションを拡充した自動裁断機「P-CAM®」は自動車内装部品や家具関連、産業資材分野などへ販路を広げ、売上も若干ながら増加しましたが、売上高は40億21百万円(前期比2.8%減)となりました。

前期に落ち込んだ大手ユーザーの設備投資が回復し、精密作業用手袋向けの高付加価値機種を中心に販売が伸びたことで、売上高は18億87百万円(前期比24.8%増)と増加しました。

横編機の販売台数の増加に連動してメンテナンス部品の販売、アフターサービスの売上が伸びた一方、カシミア糸の販売はやや減少しました。これらの結果、売上高は、ほぼ前年並みの61億44百万円(前期比0.3%増)となりました。

多様な市場ニーズに応える製品を提供しています

シマセイキは、消費が拡大する衣料品の安定した生産に適した製品を提供しています。それに加え、これから広がりが見込まれる消費地の生産ニーズに応える製品も取り揃え、さまざまな市場ニーズを捉えた高品質な製品ラインアップで、グローバルに展開しています。

大量生産型地域のニーズ

- 世界経済の成長に伴い、拡大する衣料ニーズ
- コストパフォーマンスを求める消費者ニーズ
- 大量に安定して生産するニーズ

量産に適した製品で 大量生産のものづくりに応えています

バングラデシュやASEAN諸国など、輸出主体の大量生産型地域においては、品質が良く安定した生産ができる機械が求められます。シマセイキはこの需要に応える製品を開発・提供しており、これらの地域における設備投資が活発に進んでいます。

大量生産型地域のニーズに応える製品例

良質なニット製品を、大量に生産できる製品群を提供しています。安定した稼働により、生産コストを抑えられ、コストパフォーマンスの高い衣料品を生産することができます。



SSR®



SVR®



消費地型生産地域のニーズ

- 豊富なデザインバリエーション
- 消費地でのクイックレスポンス生産(再注文も可能に)
- 注文に応じて必要な量だけ生産できるオンデマンド生産

オンリーワン製品を使ったプロセスで消費地でのものづくりに応え続けます

イタリアなどのファッション先進国では、オリジナリティの高い上質な衣料品が求められており、そのニーズはさらに強まると考えられます。シマセイキのホールガーメント®横編機やデザインシステムは、その要求に応えることで、ファッションの可能性を広げられると高く評価されています。

消費地型生産地域のニーズに応えるオンリーワン製品例

高品質で、美しいシルエットの無縫製ニット製品を創り出すホールガーメント横編機と、高精細なデザインシステムの組み合わせにより、オリジナリティの高い衣料品を短期間で生産することができます。



MACH2® XS

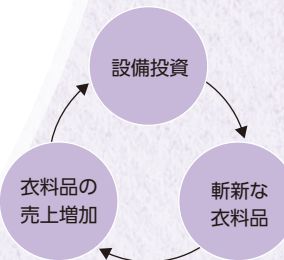


SDS®-ONE APEX3

設備投資の好循環サイクル

他社にない機能を持った当社製品は、一度導入されると、創り出される斬新な衣料品が評価され、販売が増加することで、次の設備投資を促すという流れが生み出されます。

世界中のさまざまな国で、徐々にこの循環が始まってきており、当社の成長を牽引しています。





ホールガーメント® × インレイ編みで 高級品市場を開拓する — HANBO TEXTILE 様

韓国において、他社製品との差別化を図る動きが高まっており、ホールガーメント横編機の販売が拡大しています。今回、ホールガーメント横編機の活用で急成長されている「HANBO TEXTILE」様にお話を伺いました。



「ホールガーメントは芸術。
デザインの良さで再注文が次々と——」



HANBO TEXTILE CO.
代表取締役社長 Youn-Sung Park 様



HANBO TEXTILE CO.

韓国のニットOEMメーカーとして1985年に設立。1997年に初めてシマセイキの横編機を導入し、近年ではホールガーメントのメリットを生かした新しいビジネスモデルで業績を拡大している。

韓国ニットのトップブランドから多くの受注を獲得

2005年に初めてホールガーメント横編機を見て、その大きな可能性を感じ、ぜひ導入したいと考えていました。2010年によやく購入することができ、2013年頃からはホールガーメント横編機に特化した事業を展開しています。

2015年に「MACH2®XS」が発表された時には、いち早く導入。「ホールガーメントは芸術」をスローガンに、そのポテンシャルを最大限引き出すことに努めた結果、受注が広がってきました。ホールガーメントの認知度向上もあり、現在では多くのアパレルブランドの生産委託を受け、韓国ニットのトップブランドにも数多く納入しています。

ホールガーメントとインレイ編みの融合で高評価

韓国ニットメーカーのほとんどは、アパレルからの指示通りに

さまざまな工場が入った
韓国では主流の
“工場マンション”で生産



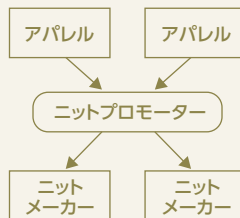
編機の保守にも力を入れ、フル生産を可能に



韓国の衣料品市場の特徴

韓国で生産されているニット製品は、ほとんどが自国内で販売されています。一般の衣料品は他国と同様、景気変動に左右されますが、韓国の場合、高級品は富裕層の需要が固く、景気変動にあまり影響されないのが特徴です。

また、ニット生産において「ニットプロモーター」という業種があり、アパレルからの仕事をニットメーカーに割り振る役割を担っています。



編むOEMです。当社はOEMの立場ながら、アパレルから提供されるデザイン画に基づいて、いかに付加価値を付けて編成するかを当社で考え、サンプルを作成し、当社側から提案するようにしており、その結果、受注を伸ばすことができます。

また、韓国で初めてホールガーメントに「インレイ編み」を採用し、その独創的な編成を「Inlayment (インレイメント)」として商標登録し、高級ブランドからも高評価を得ています。

ホールガーメントの強みを生かして業績拡大

生産面を見たホールガーメントの利点は、リピートオーダー（追加注文）にすぐに対応できることです。少ロット生産から始め、売れることで追加注文が続き、結果として大きな生産量にする、という取り組みをホールガーメントで行っています。

アパレルにとって在庫リスクが少なく、かつ短納期にも対応で

きるメリットがあることから指名が増加しており、ホールガーメントのブランド価値も上がってきています。

大手アパレルとの直取引から欧米への輸出も視野に

韓国では「ニットプロモーター」を介した取引が主流ですが、当社は国内の有効アパレルとの直取引が広がっています。これを生かし、将来は欧米への輸出も増やしていく考えです。グローバル市場への挑戦に向け、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」の高精細なバーチャルサンプルの活用などにも取り組み、シマセイキと共に進化していきたいと考えています。

ホールガーメントを生み出してくれたシマセイキにはとても感謝しています。それに応えるため、これからも韓国からホールガーメントを広めるべく挑戦を続けていきます。

「Inlayment」を
商標登録して積極展開

Inlayment®

ホール
ガーメント × インレイ
編み

デザイナーのイメージを
実現するニットプログラミング



洗濯やアイロンなど
仕上げ加工も重要なノウハウ



社員教育に力を入れ、
福利厚生も手厚い



2017年3月期(2016年4月1日~2017年3月31日)の取り組み

2016年

- 4月15日 **受賞** シマセイキ本社工場が「平成28年 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞
- 16日 **C S R** クラシックスポーツカーの祭典「ラ フェスタ プリマヴェラ 2016」に協賛 **①**
- 5月13日 **初出荷** 当社初のコンベア式ラベル自動貼り付け装置「P-LAB®18」を初出荷 **②**
- 6月22日 **組織** 上海視覚芸術学院と協同で「島精機ニットデザイン研究開発センター」を開設【中国】 ➡TOPICS
- 28日 **組織** 第55回定時株主総会を開催【和歌山】
- 7月29日 **発表** 『全自動横編機』が「戦後日本のイノベーション100選」に選定
- 8月 5日 **組織** ベトナムに現地法人「SHIMA SEIKI VIETNAM CO., LTD.」を開設 **③**
- 9日 **展示会** 「FEBRATEX 2016」に出展【ブラジル】
- 31日 **展示会** 「Preview in SEOUL 2016」に出展【韓国】
- 9月 5日 **発表** ウェブサービス「staf®」を開設
- 10月 7日 **初出荷** 自動延反機「P-SPR®2-16」を初出荷
- 21日 **展示会** 「ITMA ASIA+CITME 2016」に出展【中国】
- 27日 **組織** 当社子会社(株)イノベーションファクトリーが(株)ファーストリテイリングからの出資を受け、合併会社としてスタート
- 12月 6日 **展示会** 「ジャパン・ベストニット・セレクション 2016」に協賛・出展【東京】

2017年

- 1月15日 **展示会** 「NRF」展のインテル社ブースにて出展【アメリカ】
- 18日 **展示会** 「第3回自動車部品&加工EXPO~カーメカ JAPAN~」に出展【東京】
- 2月 5日 **展示会** 「ISPO MUNICH 2017」に出展【ドイツ】
- 7日 **展示会** 「ブルミエール・ヴィジョン」に出展【フランス】 **④**
- 14日 **展示会** 「第48回連邦貿易展(ヤルマルカ展)」に出展【ロシア】
- 23日 **展示会** 「DTG 2017」に出展【バングラデシュ】
- 3月 7日 **展示会** 「リテールテックJAPAN 2017」展のインテル社ブースにて出展【東京】
- 18日 **C S R** 和歌山市主催のボランティア清掃に当社も参加
- 24日 **展示会** 「第49回 2017大阪ミシンショー」に出展 **⑤**

2018年3月期(予定含む)

- 4月 3日 **C S R** 本社敷地内に企業内保育園「しまキッズランド」を開設 ➡TOPICS
- 9月20日 **展示会** 「54th FISMA TOKYO(東京ファッション産業機器展)」に出展【東京】



TOPICS

上海に「島精機ニットデザイン研究開発センター」を開設。 中国などの内需活性化に向け人材育成を推進

2016年6月、上海郊外にある上海視覚芸術学院に、人材育成や製品開発の拠点となる「島精機ニットデザイン研究開発センター」を開設しました。

同校は、上海の名門校である復旦大学から2013年に独立した総合的な芸術学校で、産学協同のプロジェクトへの協力として当社がホールガーメント®横編機を中心に10台の編機を設置。新素材や製品を開発できる人材の育成に加え、お客様の研修の場としても活用していきます。

開所式には、中国、台湾、香港の取引先も多数参加。これらの地域における内需拡大に伴い、必要となる人材を育成することで、新しいものづくりを活性化していけるよう運営に携わっていきます。



TOPICS

社員の子育て支援の一環として 企業内保育園「しまキッズランド」がオープン

2017年4月、企業内保育園「しまキッズランド」が、本社敷地内にオープンしました。

建物周囲には四季を感じさせる植栽が施されており、屋根には太陽光パネルを設置。また、保育室内には床暖房や、ケガ防止に配慮した安全建具なども設置されており、安全面にも配慮しています。

子育て中の社員が安心して業務に専念できる環境を整え、能力開発やキャリアアップを支援することで優秀な人材の確保に努め、今後とも長期的な事業拡大に取り組んでいきます。



株主様とのコミュニケーションの充実に取り組んでいます

個人投資家向け説明会を開催し、 多くのご意見をいただいています。

個人投資家の皆様に当社の事業内容や事業方針などを理解していただくため、個人投資家向け説明会を開催しています。



個人投資家向け説明会

当期も8月に大阪で個人投資家向け説明会を開催し、猛暑日の中、100名を超える方々にご参加いただきました。併設した株主優待品の展示スペースにも多くの方に立ち止まって

ご参加いただいた方のご感想より



以前より御社の業績、社会貢献などに注視していましたが、本日の会社説明会を通じて、さらに知識が増えました。投資についても前向きに検討していきたいと思います。(60代・男性)

いただき、直接ご意見をいただける貴重なコミュニケーションの場となりました。今後もさらに当社への理解促進を図り、企業認知の向上に努めていきます。

株主総会後に工場見学会を実施し、 事業内容を理解していただくよう努めています。

毎年6月に開催される定期株主総会の後、ご希望者を対象に工場見学会を実施しています。工場で製品が作られていく過程を見ていただきながら、当社事業を理解していただくとともに、社員の働いている姿をご覧ください、当社の技術力やものづくりへのこだわりを感じていただいております。



株主総会後の工場見学会

株主優待を通じて、ホールガーメント®製品の良さを 実感していただいています。

当社は株主還元の一貫として、株主優待を実施しております。3月期の株主優待では、当社オリジナルのホールガーメント製品をお届けしており、その着心地や品質の高さを実感していただくことで事業理解の一助としております。

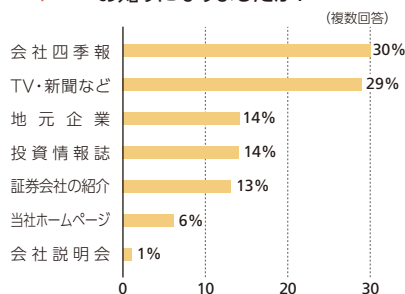


株主優待でお届けするホールガーメント製品例

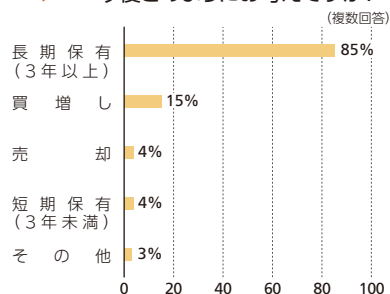
※ご所有の株数により品物は異なります。

株主様アンケート集計結果のご報告

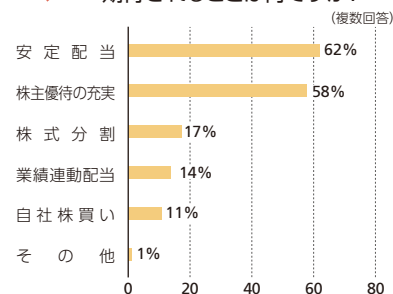
Q.1 どのように当社をお知りになりましたか？



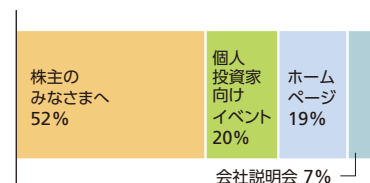
Q.2 当社の株式について今後どのようにお考えですか？



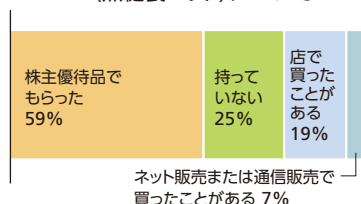
Q.3 株主還元に関して当社に期待されることは何ですか？



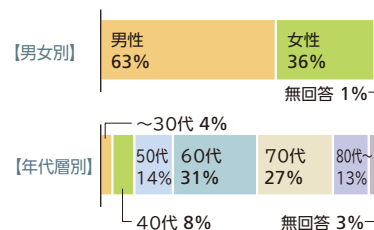
Q.4 IR活動について、どのような情報提供の充実を希望されますか？



Q.5 当社の編機で作られるホールガーメント® (無縫製ニット) について



回答者の分布



株主様から寄せられたご質問への回答

Q 株主優待品のニット製品はどこで販売されていますか？ (70代・女性)



A 申し訳ございませんが、株主優待品のニット製品は特別に企画・生産したオリジナル製品であり、一般には販売されておりません。ニット製品を販売している子会社(株)SHIMAでは、他にも魅力的なニット製品を取り揃えておりますので、一度ホームページをご覧くださいませましたら幸いです。

(株)SHIMAホームページ: <http://shima-onlineshop.com/>

Q アパレル分野以外への展開とはどういった分野ですか？ (60代・男性)



A 国内を中心に、インテリア、自動車関連、航空機関連、産業資材分野などの業界に、デザインシステムや自動裁断機「P-CAM®」などを中心に販路が広がってきております。今後も、アパレル分野以外のさまざまな業界へ積極的な営業活動を進めてまいります。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2017年3月31日現在	2016年3月31日現在		2017年3月31日現在	2016年3月31日現在
流動資産	105,736	89,983	流動負債	32,450	19,548
現金及び預金	19,160	11,158	支払手形及び買掛金	5,220	6,716
受取手形及び売掛金	67,268	58,313	電子記録債務	2,457	—
その他	21,152	22,361	短期借入金	9,975	6,002
貸倒引当金	△ 1,844	△ 1,850	1年内返済予定の長期借入金	5,000	—
固定資産	36,194	36,431	その他	9,797	6,830
有形固定資産	21,821	20,442	固定負債	4,600	8,573
土地	10,962	10,909	長期借入金	—	5,000
その他	10,858	9,532	その他	4,600	3,573
無形固定資産	4,146	4,428	負債合計	37,051	28,122
のれん	3,873	4,311	株主資本	110,923	104,810
その他	273	116	資本金	14,859	14,859
投資その他の資産	10,226	11,561	資本剰余金	21,724	21,724
投資有価証券	8,058	7,070	利益剰余金	80,480	75,135
その他	3,752	8,659	自己株式	△ 6,140	△ 6,908
貸倒引当金	△ 1,583	△ 4,168	その他の包括利益累計額	△ 6,108	△ 6,708
資産合計	141,931	126,415	その他有価証券評価差額金	919	124
			土地再評価差額金	△ 7,003	△ 7,003
			為替換算調整勘定	△ 250	△ 29
			退職給付に係る調整累計額	226	200
			新株予約権	55	180
			非支配株主持分	8	10
			純資産合計	104,879	98,293
			負債純資産合計	141,931	126,415

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	前 期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
1▶ 売上高	62,432	49,582
売上原価	33,384	26,237
売上総利益	29,048	23,345
販売費及び一般管理費	17,786	17,563
2▶ 営業利益	11,262	5,781
営業外収益	1,078	1,111
営業外費用	2,296	2,360
3▶ 経常利益	10,043	4,532
特別利益	168	293
特別損失	232	23
税金等調整前 当期純利益	9,979	4,803
法人税、住民税及び事業税	2,084	1,847
法人税等調整額	696	△ 315
当期純利益	7,198	3,271
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,198	3,271

POINT

1▶ 売上高

アジア市場を中心に主力のコンピュータ横編機の販売が拡大したことで、売上高は624億32百万円(前期比25.9%増)となりました。

2▶ 営業利益

円高の影響はありましたが、売上高の増加に伴って営業利益は112億62百万円(前期比94.8%増)と大きく増加しました。

3▶ 経常利益

営業外費用において為替差損19億29百万円が発生しましたが、経常利益は100億43百万円(前期比121.6%増)と大幅な増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	前 期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
4▶ 営業活動による キャッシュ・フロー	6,988	1,257
5▶ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,241	△ 2,350
6▶ 財務活動による キャッシュ・フロー	2,470	△ 1,776
現金及び現金同等物に 係る換算差額	171	△ 542
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	8,388	△ 3,412
現金及び現金同等物の 期首残高	9,752	13,164
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	145	—
現金及び現金同等物の 期末残高	18,286	9,752

4▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加などによる資金の減少はありましたが、税金等調整前当期純利益が99億79百万円と高水準にあったことや、仕入債務の増加、たな卸資産の減少などの資金増加要因により、69億88百万円の資金の増加となりました。

5▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払い戻しや投資有価証券の償還による収入などがありましたが、有形固定資産の取得や投資有価証券の取得による支出などにより、12億41百万円の資金の減少となりました。

6▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いやファイナンス・リース債務の返済による支出などがありましたが、短期借入金増加などにより、24億70百万円の資金の増加となりました。

会社概要

会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 株式会社島精機製作所
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.
 本社 和歌山県和歌山市坂田85番地
 創立 1962年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員数 1,274名(連結1,859名)
 事業内容 コンピュータ横編機
 デザインシステム
 自動裁断機
 手袋靴下編機 などの開発、製造、販売



本社ビル

役員 (2017年6月28日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役会長	島 正博	
代表取締役社長	島 三博	営業本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム製造技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼管理部、物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO
取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	北斗税理士法人 代表社員
監査役	野村 祥子	堂島法律事務所 パートナー弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄、残間里江子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

連結子会社 (2017年3月31日現在)



株式概要

株式の状況 (2017年3月31日現在)

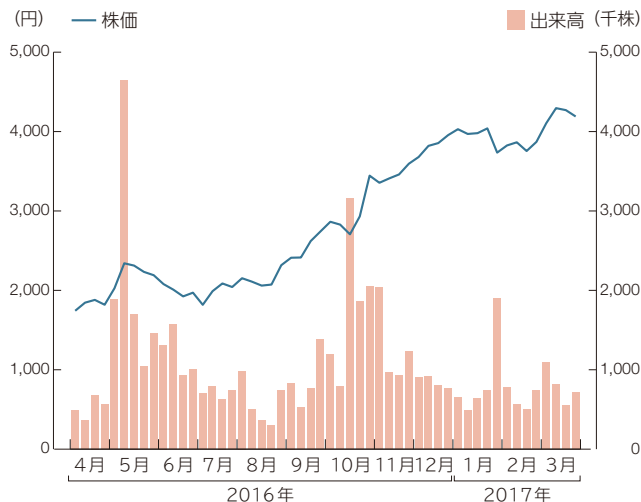
- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③当期末株主数…………… 12,846名
- ④大株主

(千株未満切り捨て)

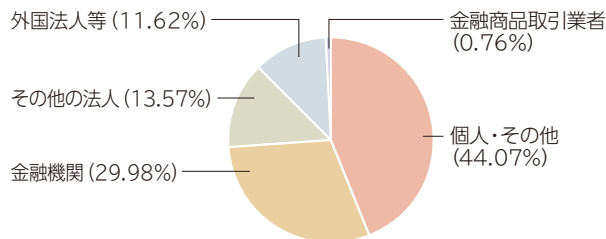
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	4,020	11.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,371	6.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,757	5.10
株式会社紀陽銀行	1,472	4.27
島 正 博	1,070	3.10
島 三 博	1,061	3.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.55
合同会社和光	780	2.26
株式会社池田泉州銀行	700	2.03
シマセイキ社員持株会	673	1.95

(注) 当社は、自己株式2,117千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株価と出来高の推移



所有者別分布



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告
下記当社ホームページに掲載
(<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IRサイトリニューアルのお知らせ

この度、株主、投資家の皆様に向けた企業情報を提供するため、IRサイトをリニューアルいたしました。

リニューアルにあたり、ご利用いただく株主、投資家様の視点に立ち、シマセイキの事業戦略や概況、今後の取り組みを分かりやすくお伝えできるよう、コンテンツの拡充とデザインの一新を実施しました。ぜひご覧ください。

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>



株式会社島精機製作所
〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL(073)471-0511(代表)
<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、MACH2、SIR、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、P-LAB、P-SPR、Shima KnitPLM、staf、トータルファクションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。Inlaymentは韓国におけるHANBO TEXTILE社の登録商標です。